

法政大学第一高等学校同窓会報

(題字は小川校長筆)

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦をはかり連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。
(規約第2条)

編集人 黒澤亢孔 (同窓会・広報委員長)
発行人 大石勝康 (同窓会・会長)
発行所 法政大学第一高等学校同窓会
印刷 コミナミ印刷株式会社

1997年(平成9年)4月25日(金) [発行] 第22号
〒180 武蔵野市吉祥寺東町3-5-7 ☎0422-20-8151

中・高・大学 一貫教育へ向けて

法政一高同窓会会長 大石勝康



大石会長

平成九年四月、新年度を迎えて会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は法政一高創立六十周年に当たり、六月二十九日には同窓会主催の記念祝賀会が赤坂プリンスホテルで、また十月二十七日には学校主催の記念式典と祝賀会が五十周年記念会館で行われ、両会場とも大勢のOBの諸兄にご参集いただき、盛大に開催出来ました。皆様方のご協力に心から厚く御礼申し上げます。

また、八月二日に行われた法政大学卒業生評議員選挙に際しましては、皆様方の絶大なるご支援により、杉浦隆様(旧中5期卒)金子泰造様(高校10期卒)と不肖私三名の法政一高卒業生が当選することができました。これも偏に同窓会の皆様方の温か

いご支援とご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

さて、只今、法政大学では、「21世紀の法政大学審議会」の答申に基づく法政大学の改革に取り組んでおります。

清成総長は法政大学報の巻頭言で「いま大学は改革を急がねばならない。法政大学にとって、『九七年は改革元年』である。大学もきびしい環境変化に直面している。十八歳人口の急速な減少が進み、大学間の競争が激しくなっている。また、国の財政赤字が危機的状況に入っており、今後私立校への助成がしだいにきびしくなる。同時に大学そのものも制度的な改革が必要になっている。(中略)

法政大学は、九六年から大きな改革に取り組み始めた。新学部の設定を中心とする教育学改革、市ヶ谷キャンパスの再開発などである。高度情報化への対応に乗り出すべく検討を始めた。また、研究推進の組織的対応にも着手し始めた。

法政大学には、こうした多様な改革のためのポテンシャルが十分に存在している。そして、九七年は、改革の正念場を迎える。その意味で、『改革元年』である。

大学は教職員のみならず、学生、父母、卒業生などから成る共同体である。教育・研究が求心力となる知の共同体なのである。これから、多くの人が知恵とエネルギーを結集して、新しい大学の構築のために共同の活動を進めていくことを期待したい」と述べておられます。

この答申の中にも「大学と附属校の関係のあり方」が大きく取り上げられ法政大学の教育理念を将来に向け、更に高度に展開するため、中、高、大学の「一貫教育の充実を目指す。これからは、量より質の時代。中・高の質を高めて、その生徒を大学に送り込むことにより、大学で、学生として中心的な役割をしっかりと展開し、附属校から来た学生たちが、法政大学全体のレベルを押し上げるような役割を担ってほしいと思います。

附属校三校の教学面や課外活動等の交流。大学との新しい形での交流により、減少期

の生徒対策を真剣に考慮する時が迫っております。これからの評議員会議におきましても附属校の立場から大いにアピールしていく所存でございます。

このような意味からも、我が同窓会の基盤をより一層確固たるものにしておかなければなりません。

今後の同窓会の運営につきましては、昨年に引き続き地道に、次の諸事項の遂行を図りたいと思います。

一、組織の強化拡充(会員の掘り起こしと住所の解明)
二、会費の徴収その他による

財務の安定化(このところ会費お振込みの際、五千円、一万円という多額のご寄付を頂き、深く感謝申し上げます)
三、同窓会会報の定期発刊と内容の充実(皆様のご協力により記事も多くなっておりますが、まだまだ各クラス会、各部OB会などの情報が少ないので、どんなに少人数の集会の情報でも結構です。お寄せください)

今後更に同窓会発展を図るべく努力いたす所存でございます。会員の皆様の深いご理解とご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

総会開催のお知らせ
平成九年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。ぜひご出席をお願いいたします。

◎日時・平成九年六月四日(水)午後六時半開会
◎場所・アルカディア市ヶ谷(私学会館)
千代田区九段北四ノ二ノ二五
電話03(3261)9921

◎会費・三千円(当日受付・夕食用意します)
◎議題・平成八年度事業報告、決算案の件
平成九年度事業計画、予算案の件
◎その他
◎委員の方は、同封の出欠ハガキを折り返し、必ずご投函願います。

'97同窓会クラス委員 総会開催のお知らせ

平成九年度のクラス委員総会を左記のように開催いたします。ぜひご出席をお願いいたします。

◎日時・平成九年六月四日(水)午後六時半開会
◎場所・アルカディア市ヶ谷(私学会館)
千代田区九段北四ノ二ノ二五
電話03(3261)9921

◎会費・三千円(当日受付・夕食用意します)

◎議題・平成八年度事業報告、決算案の件
平成九年度事業計画、予算案の件

◎その他

◎委員の方は、同封の出欠ハガキを折り返し、必ずご投函願います。

二十一世紀を切り開く

生徒を育てる

(心に夢や目標を描き、創造力と行動力を身につけ、柔軟な頭脳を培う生徒を)

同窓会名誉会長 一中・高校長 小川純一郎



小川校長

同窓会の会員の皆様には、常日頃、学校に対しまして物心両面にわたって、ご援助、ご協力をたまわりまして誠に有難うございます。

特に昨年度は本校の創立六十周年に際しまして素晴らしい記念品を頂戴し、また色々ご協力を戴きましたことに対しまして衷心より感謝申し上げます。

今日、六十年間に卒業生の数も一万九千二百五十二名を数えるに至りました。

これまで学校を支えてくださいました教職員はじめ同窓の卒業生、ご父母の皆様のご御陰と申します。

これからもわが校の伝統である暖かい人間的な雰囲気

基での教育をより一層確固たるものにするべく努力をしていく覚悟です。

目前に二十一世紀というマルチメディアの時代、インターネットの時代、多様な情報化の時代を迎えようとしていきます。

また二十一世紀は自然と人間が共生して地球環境を守らなければならぬ時代であるとも言われております。

遣伝子組み交え技術の進歩によるクロン鼠、クロン羊、クロン猿と言った動物の出現により遣伝子にかかわる生命倫理の問題もクローズアップされてきました。

このような時代に対処して行くためには、社会の変化に柔軟に対応できる頭脳と創造力、行動力が要求されます。人間の尊厳と畏敬の念を持つことを原点に据え、どのような時代になろうとも自ら学ぶ意欲と主体的に考えること

ができる能力、物事を的確に掴み、正確な判断をし、正しく表現し、力強く行動できるような資質を育てる教育を展開していく必要を感じます。二十一世紀を切り開く人間に求められるものは、人間が自然を征服するという考えではなく、自然と人間が共生することを基本に据え、寛容の精神を持ち、自らの意志で

決断し、自らの自己責任を基に実行し、事を成し遂げる力を培うことであろうと思えます。生徒一人ひとりが大きな夢や目標を持って、自分の人生を自分の力で切り拓いて行くことが出来るような人間に、人との関係を大切にすることが出来る人間に育てたいと考えています。

さらなる飛躍を！ 第15回総会挨拶要旨

同窓会会長 大石勝康

皆様今日は。同窓会の大石でございます。本日はご来賓の皆様初め、遠く北海道、九州、沖縄から同窓会の皆様のご参集下さいまして誠にありがとうございます。

本日は母校創立60周年記念祝賀を兼ねての総会でございます。顧みますと、50年前、戦災で焼失した市ヶ谷の校舎から武蔵野市に移転した時のことが走馬燈のように思い出されます。

今日のように発展充実して来た陰には、歴代校長先生を初め、教職員、PTAの方々それと同窓会会員の皆様方の地道な努力と積み上げがあったればこそ、今日の母校の姿があると申せましょう。

60周年を迎えた今日、法政大学の付属校として「自由と進歩」「自主自律」の校風は輝かしい伝統を築き上げ、さらに大発展を遂げるものと確信しております。

同窓会員も約一万九千人を超え、ますます友好と互助の輪を大きくしております。また、21世紀の法政大学審議会の答申案に「大学と付属校の関係」が大きくクローズアップされており、中・高・大一貫教育の核として、付属校の役割が重要な存在となっており、わが同窓会も積極的に活動を続けて行きたいと決意しておりますので、皆様方のご指導、ご協力を切

お願い申し上げます。

本日はご多忙の中をこのように多数の方がご列席下さいまして、誠にありがとうございます。

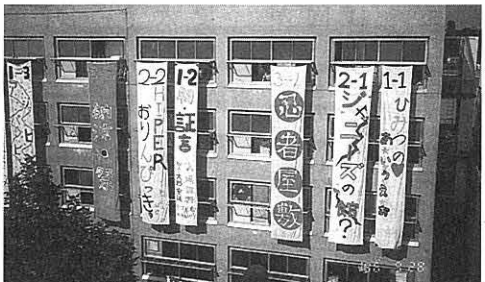
第49回プラタナス祭を終えて

文化祭担当教員 上原伸一

去る九月二十八日(土)・二十九日(日)の二日間、本校の文化祭であるプラタナス祭が、両日とも天候に恵まれ、大きな事故もなく予定通り開催されました。

今年度は、本校の文化祭の基本路線である「チャリティー文化祭」を継承しつつも、昨年度の流れを継承し、試行錯誤の「第二步」と位置づけ催行しました。その結果、従来行われてきたクラス企画などに加え、今年度は「チャリティーバザー」を中高別々に実施したり、高校の中央企画で

ある仮装大賞をやめ、新たに「チャリティーオークション」を実施するなど、去年までとは違った取り組みも見られました。昨今の生徒の価値観の多様化の中で、生徒集団が一致して一つのこと(行事など)に取り組むことが少なくなってきたように感じます。そういった状況の中で本校の文化祭ではありますが、学校内でも一致団結して協力し合えば、こんなに楽しいことができる、ということを知り、より充実した学校生活を送ることができる、ということに気づけるように、我われ教員集団も様々な働きかけを行っております。



第49回プラタナス祭(中学棟の案内幕)

五十回の節目を迎える来年度の文化祭は、今年度見られた動きを、どう継承し、またどう発展させてくれるのかも楽しみです。同窓生の皆様方にも、ぜひ文化祭には多数の方に来校していただき、最近の在校生の活動を見ていただきたいと思っております。

平成8年度 同窓会 クラス委員総会開催

平成8年度の委員総会は、例年より2か月ほど早く(記念総会準備のため)平成8年4月3日、アルカディア市ヶ谷にて開催されました。

当日は名誉会長の小川校長先生、事務長の森嶋広先生にもご出席いただき、鈴木事務委員長(当時)の司会で始まり、左記事項の報告、提案が行われました。(出席者総数42人)

議事、議題は次の通り。

- 一、平成7年度事業報告
 - 二、決算報告
 - 三、監査報告
 - 四、平成8年度事業計画
 - 五、予算案
 - 六、同窓会規約、細則の修正案の件
 - 七、平成8年度、第15回総会開催、ならびに創立60周年記念祝賀会開催の件
 - 八、役員改選の件
 - 九、法大評議員に大石会長を推薦する件
- などが審議され、すべての議案が可決承認されました。決算書、予算案は本面左下を参照下さい。また、事業報告の詳細は左記の通りです。

平成8年度事業報告

事務委員長 中島康孝
 4月3日 平成8年度クラス委員総会開催(前記参照)。
 4月6日 一中・高入学式に大石会長、鈴木事務委員長、黒澤広報委員長参列。
 5月7日 母校創立60周年記念品贈呈(ホールクロック)。
 5月30日 同窓会名簿作成のため、住所変更等のチェック。渡辺名簿編纂委員長、鈴木事務委員長。
 6月1日 記念総会担当役割、会場下見と打合せ。
 6月29日 第15回、創立60周年記念総会開催。
 7月15日 総会経費他精算および事後処理。大石会長、鈴木、中島、黒澤にて。
 8月25日 硬式野球部激励。大石会長、鈴木。
 10月27日 母校主催、創立60周年記念式典に大石会長以下役員、会員多数出席。
 11月8日 若宮弘先生ご逝去、通夜に鈴木参列。
 11月9日 同先生告別式に大

石会長参列

平成9年
 1月13日 学校に年始挨拶。大石会長、鈴木、黒澤。
 1月24日 役員新年打合せ会。小川校長、森嶋事務長、大石会長、他役員14名。
 2月22日 附属高校同窓会役員懇談会。ホテルシーサイド江戸川にて。小川校長、大石会長、副会長、各委員長参加。(工高、二高、女子高各校

同窓会新役員一覧

平成8年6月29日に開催された総会で、新役員が次のように改選されました。

役名	(卒業期)
会長	大石勝康(中9)
副会長	鈴木嘉能(高2)
副会長	岩村元雄(高8)
相談役	川城官子門(高9)
総務委員長	前田賢文(中5)
副委員長	中島康孝(高2)
副委員長	鈴木勝雄(高10)
副委員長	田尻亮平(高6)
副委員長	原田潤(高10)
副委員長	榎原実(高2)
副委員長	泉智雄(高3)
副委員長	相川欣運(高6)
副委員長	石井惣治(高7)
副委員長	黒澤亢孔(高3)
副委員長	齊藤利彦(高8)
副委員長	飯塚善準(高14)

法政一高同窓会・平成7年度収支決算書

会計監査 片庭伸一 平成8年4月3日
 名簿編纂委員長 渡辺 仁(高5)

収入の部 (単位 円)				
科目	項目	予算額	決算額	差異
繰越金		5,477,592	5,477,592	0
会費		3,250,000	3,286,450	36,450
(イ)	入会金	846,000	801,000	△45,000
(ロ)	新入会員年会費	564,000	534,000	△30,000
(ハ)	年会費	1,600,000	1,702,450	102,450
(ニ)	その他会費	240,000	249,000	9,000
雑収入		50,000	113,355	63,355
繰入金		300,000	0	△300,000
繰入金		300,000	0	△300,000
計		9,077,592	8,877,397	△200,195

支出の部 (単位 円)				
科目	項目	予算額	決算額	差異
経常費		1,415,000	1,001,863	△413,137
(イ)	学校協力費	250,000	186,224	△63,776
(ロ)	会議費	300,000	408,777	108,777
(ハ)	組織活動費	200,000	20,000	△180,000
(ニ)	印刷費	50,000	0	△50,000
(ホ)	通信費	200,000	0	△200,000
(ト)	人件費	345,000	345,000	0
(チ)	事務用品費	20,000	4,000	△16,000
(テ)	雑費	50,000	37,862	△12,138
事業費		2,480,000	2,311,088	△168,912
(イ)	会報発行費	2,000,000	2,061,761	61,761
(ロ)	委員総会費	480,000	249,327	△230,673
予備費		300,000	0	△300,000
予備費		300,000	0	△300,000
小計		4,195,000	3,312,951	△882,049
次年度繰越金		4,882,592	5,564,446	681,854
合計		9,077,592	8,877,397	△200,195

平成8年度収支予算書(案)

平成8年4月3日

収入の部 (単位 円)				
科目	項目	予算額	内訳	
繰越金		5,564,446		
会費		3,390,000	新入会員予定290名と既会員分他	
雑収入		80,000	預金利息、その他	
繰入金		3,000,000	総会費350名×8千円、ご祝儀20名×1万円	
計		12,034,446		

支出の部 (単位 円)				
科目	項目	予算額	内訳	
経常費		1,415,000		
事業費		5,600,000	会報発行、総会、委員総会費等	
予備費		300,000		
小計		7,315,000		
次年度繰越金		4,719,446		
合計		12,034,446		

大石会長、上位当選 法大卒業生評議員選挙

副委員長 朝井秀行(高2)
 〃 山路隆秀(高30)
 〃 竹内信雄(高31)
 〃 田辺勉(高17)
 〃 春野智毅(高17)

会計監査 片庭伸一(中9)
 〃 山田富蔵(高7)
 (旧顧問、相談役、理事、参与は留任)

投票用紙送付者数(選管発表) 一六七、七二一人
 投票総数 三一、五〇五人
 一高同窓生では次の三氏が当選しました。
 大石勝康氏 (8位当選)
 金子泰造氏 (13位〃)
 杉浦隆氏 (23位〃)

昨年、大幅に改定された法大卒業生評議員選挙規則による同選挙は、平成8年8月2日に実施され、同窓会より推薦を受け立候補した大石会長が上位当選(当選者28人)しました。会員皆様のご支援に感謝申し上げます。

第15回総会(母校創立60周年記念)開催さる

母校創立60周年、という記念すべき年に当たった第15回同窓会総会は、平成8年6月29日(土)東京・赤坂のプリンスホテル、クリスタルパレスにおいて、盛大に開催されました。

会は午前11時、鈴木総務委員長(当時)の司会で開会され、大石会長の挨拶、名誉会長の小川一中・高校長の挨拶の後、議長団が選出され、議事に入りました。

議長はすべて可決承認され、次いで永年同窓会役員を務められた前田賢文副会長の退任にともない感謝

状の贈呈が行われ、11時50分に閉会となりました。

総会議題
一、平成7年度経過報告
二、決算案
三、会計監査報告
四、平成8年度事業計画案
五、予算案
六、同窓会規約・細則改正案
七、平成8年度役員改選
の各議事が会長初め各担当役員より提案説明され、出席者全員の承認が得られました。

総会終了後、午後12時よりクリスタルパレスの大ホール一杯に設営された祝賀会会場で、斉藤利彦副委員長の司会で祝賀会に移りました。

一高恩師代表・寺本隆雄先生、付属校代表・第二高校校長鈴木養身先生、付属校同窓会代表・工業高校菅原宗一様と進み、乾杯のご発声を女子高校長谷上久憲先生にお願いし、全員で声高らかに祝杯を上げました。

続いて、元法政一高教師で法大野球部、一高野球部の各監督をされ、ロスアンゼルスオリッピックの日本野球チーム(優勝)の監督もされた、松永恰一先生が主として一高野球部が甲子園に出場した当時の思い出をユーモアたっぷりにお話し下さり、会は熱気に溢れる状態となりました。

さらに現法大野球部の山中正竹監督もご多忙の中を駆けつけて下さり、温かい祝辞を述べていただきました。その後、一高教養文化講座でコーラスを受講されているご婦人方(20名)が、木村勇三先生(現一中・高教諭)の指揮による美しいコーラスを聴かせて下さり、男子校の会の中になごやかな雰囲気を作り出していただきました。

会は、午後2時30分に元法大応援団リーダー部長の永瀬和夫氏(昭和23年卒)の熱いリードによる校歌の斉唱で、無事閉会となりました。

開催にさいまして、ご出席下さいました来賓の皆様、同窓会会員の皆様、ご面倒な役割りをご担いだいただきました同窓会の各役員、委員の方たちに心から厚く御礼申し上げます。(出席者計370人)

新入会された高校49期の方たちの、同窓会クラス委員が左記のように決定しました。

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

一高に
文部大臣賞

昨年11月27日、東京都の統計思想普及向上のための「第19回東京統計大会」において一高が学校基本調査(団体)

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

文部大臣賞
一高に
文部大臣賞

総会・議事審議



法大野球部 山中監督



女子高校 谷上校長先生



第二高校 鈴木校長先生



コーラス・文化教養講座の皆様



思い出を語る松永先生



校歌斉唱・リーダー永瀬和夫氏



大盛会の祝賀会

の部で文部大臣賞を受賞し、小川校長が受賞者代表として出席、表彰状を拝受しました。

同窓会(高49期) クラス委員一覽

新入会された高校49期の方たちの、同窓会クラス委員が左記のように決定しました。

級委員 1組 浦上朋晴
同 2組 木村雄治
同 3組 深澤義道
同 4組 水野栄志
同 5組 大熊隆晴
同 6組 竹内寿光
同 7組 佐分利 亘
同 8組 青木康武
同 9組 関口健吾
同 10組 齋藤仁宏
同 11組 益子陽介

同窓会年会費 お振込みお礼と お願い

平成8年度は本年三月十日現在、五〇一人の方から合計一八〇万円が振り込まれております。まことにありがとうございます。なお、年会費は同窓会活動の唯一の財源ですので、今年度も同封振替用紙にて、年会費をお振り込みいただきますよう、お願い申し上げます。(同窓会事務局)

各会(同期会)だより

滝沢元校長先生 米寿のお祝い

元校長先生の滝沢先生がお元気で米寿をお迎えになられたことをお祝いする会が、開催されました。

会は高校10期の有志の方たち(発起人代表・福島善哉氏、副代表・三浦高義氏、他八人の発起人)の企画で、平成8年10月12日、13日、一泊で馬頭温泉郷(栃木県)の「あず



滝沢元校長先生の米寿をお祝いする会

まや温泉ホテル」で午後6時から開催されました。

明石先生も参加され、お元気な滝沢先生を全員で(出席者26人、出席できずご寄附下さった方20人)お祝い申し上げ、和気あいあいとした楽しい会となりました。(立沢)

法隆会(中6期)で 寺本先生の 傘寿のお祝い

平成9年2月22日午後一時、小石川後楽園涵徳亭において、



寺本先生の傘寿祝賀会=法隆会(中6期)の皆さん

法隆会(中学6期)主催(世話人代表・井口健一氏)の「寺本隆雄先生の傘寿を祝う会」が開催されました。

会は吉田昭典氏の司会で始まり、来賓として同窓会大石会長、同広報担当黒澤氏、元一中・高事務長の万代治郎先生、法大総合企画部長小鷹俊郎氏が祝辞を述べ、記念品、花束贈呈の後、寺本先生の謝辞、乾杯で祝宴に入り、校歌斉唱後、午後四時散会しました。

高校3期 2組

高校3期2組「テラカン」。

「クラス会」では、平成8年11月16日、新宿中村屋5階にて寺本隆雄先生をお招きしてクラス会を開催しました。

当日は20人のクラスメイトが集まり、午後二時〜四時半まで、先生を囲んで思い出話やら告白?で時の経つのも忘れて賑々しく和やかに過ごしました。当会は年に一回開催しました。長らく続いております。テラカンの意味は昭和50年代以前卒業の皆様はお分かりのことと思いますが、懐かしい響きですね。(幹事古浦芳雄)



高校3期2組の皆さん

高校4期 3組

高校4期3組(正木信一先生担任)「太子会」では、平成8年9月21日、浅草「大多福」で正木先生を囲んで18人が出席したクラス会を開催しました。各々が歳を重ねたすばらしい顔で集い、久しぶりの再会に秋の夜長をたつぷりと飲みこみ、話が尽きぬ楽しい会となりました。なお当会では最新名簿を作成しました。問い合わせは、土屋 眞まで。



高校4期3組の皆さん

高校10期 1組

平成8年3月、伊東温泉でのクラス会に続いて、9月5日、2度目のクラス会を同期生経営のキャンブ料理店で開催しました。出席者は10人で正木先生を囲んでの語らいは尽きず、夜10時過ぎまで続きました。10期1組では30年間、ほぼ毎年開催していますが、その都度、珍しい顔、久しぶりの顔が見え大変楽しい会となっております。(鈴木勝雄)



高校10期1組の皆さん

「一中・高の現況」

一中・高教諭 吉川 司

☆創立60周年記念式典

十月二十七日(日)、本校創立60周年記念式典が総長、理事、旧教職員、同窓会、PTA等多数の方々の参加のもと盛大に催されました。最近十年

☆大学推薦について

昨年から法政大学(I部)への推薦率が85%に拡大されました。今年度も推薦基準と呼応する結果となり、85%の生徒が推薦されました。さらに有資格者全員推薦をめざし努力します。

☆中学修学旅行が 広島・長崎へ

長年続いていた中学の修学旅行が奈良から広島・長崎へと変わり日程も四泊五日になりました。これ迄の古代史を

HOSEIだより

一中・一高・校内情報

の歩み(「年史」も作成)を中心に教育上の諸活動が確認され、21世紀に向けてさらに飛躍をする大きな節目とすることができました。なお、記念式典を開催するにあたり、同窓会長を初め多くの方々から熱いご支援を頂きあらためて御礼を申し上げます。



山岳部

我ら山岳部は、平成8年4月スタート時の部員が3年生5人のみという、部の存続が危ぶまれる状態にありました。しかし、3年生の熱心な勧誘と親身な指導により、新入生5人が入部し、前年以上の活気を取り戻しました。

夏合宿で南アルプスへ行くことを目標として、1年間で7本もの山行を実施しました。特に、夏合宿は1、3年生とも縦走は初めてということ

通じて学んだ成果を現代史にも活かし、国際感覚も身につけることを狙いました。準備等に相当なエネルギーを要しましたが、第1回目の実施として生徒共々成果があげられたことを実感できました。

☆南庭がラバーコート化

日頃から狭い校地で生徒は部活や遊び場の不足に悩んでいましたが、夏休み中に南庭全面がラバーコート化され、テニスコートの人工芝化について利用し易くなりました。今回のラバーコート化で生徒は安全でのびのびとプレーができるようになり、毎日楽しいような声が響いています。



軟式野球部

精神的に練習に取り組みました。その甲斐があつてか、4泊5日で仙丈岳と北岳を縦走することができ、3年生は先輩としての責務を立派に果たし、1年生は改めて山の魅力を実感することができました。最後に、昨年号でお約束しましたOB会の件ですが、本

現在、高校「軟式野球部」は、二年生十名、一年生七名の計十七名で活動を行っています。

練習のほとんどが屋上練習なので、決して恵まれた練習環境とは言えません。他の部にはない明るさややる気が頑張っています。また、昨年の夏休みには自分たちの意志で合宿をするこ

年こそ実現したいと思います。松本節也先生や世話人の方と相談の上、6月一杯に日程を決めたいと考えています。連絡先(TEL)〇四二二二〇一八(一三四)法政一中高、社会科 飯郷 (山岳部顧問)

飯郷 茂
長谷川 崇

とを決め、石岡の運動合宿所で技術向上を目標に頑張りました。合宿は大成功で、チームもよくまとまるようになりました。

現在は、近くなつてきた春季大会に向けて練習にも力が入ってきました。軟式野球部には、普段、指導してくれる方はいませんが、キャプテンを中心にお互いを指摘しながら、一人ひとりの技術向上に力を入れています。

今年度のチームは、個人の能力も高く、まとまりがあるチームだと感じています。是非、OBの方々の御指導をいただきたく思います。また、応援の方もよろしくお願ひいたします。(軟式野球部マネージャー 戸神 一樹)

軽音楽部



様々なジャンルの音楽を演奏することを楽しみ、学校行事に積極的に参加することで学校を盛り上げていきたい!そんな思いを胸に秘めた生徒たちの、二年がかりの運動が実つて、今年、クラブとして新設されました。火・木の練習、土のミーティング、すべて自主的に運営し、常に新しいことにチャレンジしてきます。文化祭での演奏会やクリスマス・コンサートもなかなか好評でしたし校外の高校生を対象としたミュージック・フェスティバルへの出場も果たしました。器材や練習場所などの困難も抱えています。少しずつ解決していきたいと思ひます。将来的には、同じ音楽系のバンド演奏会やギター部と合同で演奏会ができれば、という夢を膨らませています。

(顧問 古家敏亮 池田英志)

文学研究部

「文学研究」とは名ばかりと言っては語弊があるが、正直なところ、既成の文学観ではとらえきれないような活動状況にあることは事実である。部員も、ボーダーレスの時代を反映してか、マンガアニメ部・写真部・美術部・放送会など、文化系の多くの部を兼部している者が、ほとんどのようである。

活動日も、特に決まっておらず、放送会の部室に集まって

談笑を交わしているというのが実状である。

年間の主な取り組みは、年二回(文化祭と春休み)に、雑誌『新撰』を発行している。また、法政女子高校との交流会も、年二回行っている。

このようなクラブの現状を知って頂くためにも、是非とも、同人誌『新撰』を御一読下さい。

(顧問 遠山親雄 兼坂壮二)

アイスホッケー部

春から秋にかけての早朝練習(六時開始)は、早起きをしてかえって得したような、それでいて清々しいものがある。しかし、冬季に入ってから朝五時前に家を出るのは正直なところ辛い。真っ暗な上に冷え込みは中年過ぎの私には堪えるものがある。私はまだしも部員は重い防具を肩にしての道のりはさぞかし辛いことであろう。好きだからこそできるというものだ。卒業する迄、挫けることなく続ける生徒に賛辞を送りたい。

費用面で父母負担がかかる



(アイスホッケー部 顧問 吉川 司)

演劇部

演劇部は昨年度に当時高校二年生であった有志数名が文化祭の折に演劇を上演したのが契機となって今年度より正式にクラブとしての活動を認められた新しい文化部です。部員は高三年生のみ八名で活動し、文化祭では「竹内物語」と「エマテタネンホ島に

おける国家興亡論」の二本の創作劇を上演しました。部員の熱演にも拘らず観客が非常に少なく、残念な気がしました。現代の文化的関心が多様化する中でこの文化部の活動の難しさを痛感しているところです。

(顧問 武部尚人)

教職員人事異動

一中・高教諭 吉川 司

退職教職員

矢口 五郎先生(社会)



一九五五年から四十二年間勤められた先生が定年退職されました。長く軟式野球部の顧問をされ、担任として卒業生も多く送り出しています。

(顧問 吉川 司)

小木 有里先生(化学)



三年間も運営委員の代表として切り盛りされて来られ、常に「誠実を胸に刻んで」仕事される先生でした。

一九九三年から勤務されて来ましたが、一身上の都合により退職されました。ゴルフ部の顧問もされ、昨年は高校一年生の担任と学務委員の仕事も豊富で長年学校の舵取りに携わって来られ、一中・高のことに関しては、まさに「生き字引」的存在でした。この

ギツシユな声を響かせていました。

原山 順一先生(英語)



一九九一年から勤めて来ましたが、一身上の都合で退職されました。アイスホッケー部の顧問もされて自らも水上で部員と一緒に練習に励んで来られました。昨年までは高校一年生の担任として、生徒ひとりひとりの状況を理解してメリハリのある指導をされて来ました。

猪俣 理華子先生(英語)



一九九三年から本校に勤務されて来ましたが、一身上の都合で退職されました。中学バスケット部や生徒委員会と多忙な中を歩んでこられ、昨年は中学三年の担任として卒業生を送り出しました。常に生徒の立場を理解し、より高いレベルに引き上げていくこ

とを心がけていました。

森嶋 広先生(事務長)

一九九四年から事務長として着任されていましたが、このたび大学の施設部長として栄転されました。経理面の手腕は切れ味もすばやく、特に一中・高の予算関係では教育環境の整備に向けて大きく貢献されました。

新任教職員

社会科 平野 哲也先生 法政大学卒

英語科 矢部 亜希子先生 立教大学卒

養護 福田 有紀先生 宮城学院女子大学卒

事務長 石井 平八先生 多摩図書館より

職員人事異動

◎会計係の石塚房子さんが主任に昇格し、大学の学務部(経営学部資料室)へ栄転されました。

◎庶務係の宮島徳子さんが大学の保健体育部に転出されました。

◎新入職員の中條智子さんが会計係に配属されました。

(以上、一九九七年四月より)

写真Ⅱ 高校49期卒業式



報委員長の三人が出席、大石会長が同窓会を代表して祝辞を述べました。

歓迎！ 高校49期卒 280名の方が新入会

一九九六年度(平成八年度)の高校49期生卒業証書授与式は三月十二日に高校の体育館講堂で行われ、二八〇人の方たちが晴れて卒業、同時に同窓会に入会されました。

新入会の皆さんには、会員として同窓会の会合、事業などに積極的に参加され、特に同期の同窓会クラス委員(本

「愛校心高まる法政」を 合い言葉に

一 中・高入学試験を終えて 入試委員会代表 小林 邦久

平成9年度の入学試験は、一月十七日の高校推薦入試をはじめとし、二月三日の中学入試、二月十日の高校一般入試とすべて無事に終了することができました。

今年の入学試験は、高校入試日が二月十日に繰り上げられたことや、中学試験では、二月二日に入試をおこなったミッション系の学校が三日に繰り下げられたことなど日程上の変更がありました。

これによって本校第一希望の志願者が絞り込まれたものの就学者人口の減少による志願者数減が続いており(表1)他校でも生徒募集には苦戦しています。

本校では「法政のアピール」と「第一希望の受験生を大切にしたい生徒募集」を心がけた活動ができました。また、今年度も法政大学への推薦率が80%をこえたため、有資格者

号4面に掲載)とは連絡を密にしていいただき、母校と同窓会の発展に一人ひとりがご協力下さるようお願いいたします。

の全員が法政大学へ進学でき(表2)、益々、中・高・大の十年間で考える「法政」が確立してきたといえます。これもひとえに、同窓生の皆様によって築かれた実績とご努力の表れだと確信し、たいへん

感謝しております。ところで、今年度の入試委員は4月当初から、「本校のアピール」を意識して活動してきました。初めて、吉祥寺駅に法政一中高の看板を出したり、入試説明会などで学校紹介を積極的に行い、ひとりでも多くの方に法政を知ってもらうことを心がけてきました。しかし、まだまだ法政の「自由で、アットホームな教育」や「積極的に活動していける雰囲気」までは充分理解していただけていないように感じられます。そこで、来年度はさらなる「法政アピール」を

意識して活動していきたいと思っています。我々全校教職員は、この法政一中高の良き雰囲気大切にしつつ全力を尽くしてまいります。それにもまして、同窓生皆様のお力添えも大きな原動力となっております。ここで「愛校心高まる法政」を合い言葉として、本校の雰囲気をお願いする次第です。

我々も精一杯活動していきたいと思っておりますので、先輩諸兄にはどうかご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

同窓会事務局 からのお願い

会員の方で住所移転、勤務先変更、改姓などのあった場合は直ちにお届け下さい。毎号、残念ながら返送される会報が多数に上ります。経費面でも大きなムダとなりますので、必ず届け出をお願いします。ご連絡の方法は、ハガキまたはFAX(0422-214633)、同窓会事務局・直村あて)でお願いいたします。お電話での受付はいたしません。宛名は本紙一面、題字下に記載されています。

編集後記

母校創立60周年記念総会、新制度による大学評議員の選挙など公的な行事が重なりましたが、これらの行事に積極的に参加された方々の年齢層は、40代から上の若い力と母校愛も結集していただければ、法政の評価がさらに高まります。ぜひ参加されて活動してみ下さい▼先月は中・高の卒業式、今月は入学式に参列しました。こちらは文字通り若い生徒たちが希望と夢を抱いて、それぞれの式に出ていきましたが、きっと母校のよき伝統を受け継いで、明るく伸びやかに学業、スポーツで活躍してくれるものと期待しました▼折しも、法政大学では本年を「改革元年」として、教学、設備、新学部設置などの各面について21世紀への対応を強力に進め始めました▼中・高・大一貫教育を行う立場として附属校についても当然、将来への展望が審議されています。同窓会としても、教職員、生徒、PTA、他附属校の方たちと連帯をして母校の発展に寄与しようではありませんか。(黒澤)

表1. 平成9年度 中・高 入試状況

募集定員	志願者数	合格者数
中 105名	617名	200名
高 156名	推薦入試 15名	15名
	一般入試	
	A,Cコース 134名	77名
	B,特コース 234名	130名
計	383名	222名

表2. 法政大学学部別進学者数 (平成9年3月卒業生)

学部・学科	1部	2部	計
法 律	32	6	60
法 治	18	4	10
哲 本	3	2	5
日 文	5	2	8
英 文	8	2	26
史 地	6	1	7
教 育	4	2	6
計	231	19	250

経済	1	2	3	計
経済	29	29	3	32
商 業	-	-	2	2
応 用 経 済 社 会	18	38	2	40
社 会	20	-	-	20
経 営	48	48	-	48
機 械 工 学	6	-	-	6
物 質 電 子 情 報	1	-	-	1
電 子 情 報	7	-	-	7
電 子 情 報	6	-	-	6
シ ス テ ム 制 御 工 学	7	40	-	47
土 木 工 学	5	-	-	5
建 築 工 学	4	-	-	4
経 営 工 学	4	-	-	4
計	231	19	250	
推 薦 率	82.5%	6.8%	89.3%	